

札幌市学校教育情報化推進方針 令和6年度(2024年度)～令和10年度(2028年度) 概要版

第1章 方針の策定にあたって

(1)経緯

市教委では、機器やコンテンツ、教職員へのサポート等の整備の詳細、実施スケジュール等を具体化した内部的な指針として、平成26年2月「札幌市『教育の情報化』推進方針」(令和元年見直し)を作成し、学校における情報化の推進に取り組んできた。

(2)国の動向

○「学校教育の情報化の推進に関する法律」(令和元年6月)

令和元年6月、「学校教育の情報化の推進に関する法律」が施行。市町村は、学校教育の情報化の推進に関する施策についての計画を定めるよう努めなければならないとされており、市町村に策定の努力義務が課せられている。

○GIGAスクール構想の推進

令和元年12月に「GIGAスクール構想」が公表され、1人1台端末の一体的整備など、教育の情報化に向けた施策が打ち出される。その後、コロナ禍も踏まえ、GIGAスクール構想に基づく学校のICT環境整備が加速された。

○「令和の日本型学校教育」(令和3年1月公表)

個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実し、主体的・対話的で深い学びの実現を目指すための基盤的なツールとして、ICTの活用が必要不可欠であることが示される。

○「学校教育情報化推進計画」の策定

令和4年12月、国は今後の学校教育の情報化の推進について施策の方向性やロードマップを示す「学校教育情報化推進計画」を策定。

(3)位置付け

令和6年3月、第2期札幌市教育振興基本計画(以下「市振興計画」という。)を策定。市振興計画は、札幌市における今後の教育の目標や方向性を明らかにし、これらに基づき、教育に関する施策を総合的・体系的に進めることを目的としたものであり、札幌市学校教育情報化推進方針(以下「本方針」という。)の上位に位置付けられる。

本方針は、市振興計画のアクションプランで掲げた情報化推進に関連する事業・取組を対象とする。施策の方向性を共有し、市教委と学校の役割を明確にし、事業・取組を推進する目的で策定。

(国)

学校教育情報化推進計画

参照しながら策定

第2期札幌市教育振興基本計画

教育ビジョン

学校情報化推進に該当する事業・取組を対象

教育アクションプラン

札幌市学校教育情報化推進方針

第2章 札幌市における学校教育情報化の現状と課題

【児童生徒】

- ・児童生徒の情報活用能力の育成が不可欠
- ・日常的なICTの活用が途上にある
- ・特別な支援が必要な児童生徒へICTの強みを生かした取組が重要
- ・著作権の理解・健康面への影響も含め、情報モラルや情報リテラシーの習得が必要

【教職員】

- ・学校や個々の教員の間でICT活用状況にばらつきがある
- ・「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善に、ICTを積極的に活用することが必要

【学校環境】

- ・1人1台端末などICT環境が急速に進展
- ・適切なICT環境整備が必要
- ・個人情報の適正な取扱いと情報セキュリティの確保が必要
- ・ICTを活用した校務の効率化、教員の多忙化解消が必要

第4章 基本方針と具体的な施策

目指す姿の実現に向けて、基本的な3つの方針に基づいた施策を実施。ICT活用を推進するための環境整備を行い、教職員がICTを効果的に活用することで、児童生徒一人一人の資質・能力の育成を図る。

基本方針	基本方針に基づいた取組	第2期札幌市教育振興基本計画との関連
方針1 ICTを活用した児童生徒の資質・能力の育成	1. 1人1台端末を活用した「課題探究的な学習」の充実 2. 1人1台端末を活用した「さっぽろっ子自治的な活動」の充実 3. 情報モラル教育の推進 4. ネットトラブル等対策の推進 5. デジタル教材を活用した外国語授業の推進 6. ICTを活用した「異文化理解教育」の推進	・「さっぽろっ子『学ぶ力』の育成プラン」の推進(施策1-1①) ・ICTを活用した教育の推進(情報教育)(施策3-2①) ・算数「beyond」プロジェクト事業(施策1-1④) ・「人間尊重の教育」推進事業(施策1-2①) ・外国語教育の推進(施策1-1⑤) ・国際理解教育の推進(施策1-2②)
方針2 教職員のICTの活用・指導力の向上	1. 教職員研修による実践的指導力の向上 2. 札幌市教育研究推進事業を通じたICT活用力の育成 3. 特別支援教育におけるICT活用に関わる指導者研修の推進 4. 管理職における教育の情報化への対応力の向上 5. 心の健康観察アプリを活用したいじめ・不登校対応の充実 6. 校内教育支援センターにおけるICTを活用した支援のサポート	・ICTを活用した教育の推進(情報教育)(施策3-2①) ・「札幌市教育研究推進事業」の推進(施策1-1②) ・特別支援教育に関する校内支援体制の充実(施策1-3③) ・管理職研修の充実(施策3-3⑤) ・いじめの防止等のための対策の推進(施策1-4⑥) ・相談支援パートナー事業(施策1-4②)
方針3 ICTを活用するための環境の整備	1. 1人1台端末の更新・ICT機器及びデジタルコンテンツ等の整備 2. クラウド型新校務支援システムの導入に向けた検討 3. 学校ネットワーク環境の再構築及びデータの利活用に向けた検討 4. 札幌市教育情報セキュリティポリシーの改訂 5. ICTの効果的な活用による通級による指導・特別支援学級・特別支援学校の教育内容の充実 6. 教育支援センターにおけるICTを活用した不登校児童生徒への支援の充実	・ICT機器・デジタルコンテンツ等の整備(施策3-2②) ・ICTを活用した校務支援の充実(施策3-2③) ・緊急時における学校・家庭・地域の連携体制の構築(施策3-2⑤) ・通級による指導・特別支援学級・特別支援学校の教育内容の充実(施策1-3②) ・不登校児童生徒のための新たな学びの場整備事業(施策1-4①)

第5章 取組の進捗状況を測る指標

目指す姿の実現に向けた取組の進捗状況を確認するため、以下の成果指標と目標値を設定。

成果指標	現状値(R5年度)	目標値(R10年度)
ICT活用に関する自分の取組を肯定的に評価する児童生徒の割合	77.2%	85%
端末を活用することで生活をもっと豊かにすることができると思う児童生徒の割合	85.6%	90%
授業や校務にICTを効果的に活用できる教員の割合	82.0%	100%

第3章 学校教育の情報化推進の方向性

ICTの利点を最大限に生かした教育活動を推進するとともに、ICT活用を通じた、札幌市の児童生徒、教職員の可能性を引き出すことを目指し、児童生徒・教職員それぞれの目指す姿や目指す学校環境を明らかにすることで、学校教育における情報化を推進する。

【目指す児童生徒の姿】

子ども一人一人が、ICTの特性や強みを生かしながら主体的に活用することで、情報活用能力を発揮し、新たな価値の創造に挑んでいる

【目指す教職員の姿】

全ての教職員が、ICTを効果的に活用できる指導力を高め、小中高を見通した情報活用能力の育成に取り組んでいる

【目指す学校環境】

ICTを活用した校務の効率化により、全ての教職員がゆとりをもち、子ども一人一人と向き合える学校環境